

調査項目の見直しの考え方

調査周期を四半期ごとから年 1 回に変更する予定としており、構造調査票の調査項目を基本とする。また、利用者のニーズに的確に対応するために新規調査項目を追加する一方で、複数年に渡って同一事業所の調査を行うことから、記入者負担に配慮し調査項目に絞り込むことを前提として、検討を行う。

【新設項目】

詳細な分析を可能とするよう項目を追加

- ・「副業の有無」の追加：主業と副業が入れ替わる可能性があるため
- ・「受託の有無」の追加：下請け等の状況を把握するため
- ・「営業用住所の有無」の追加：経費等に自宅分が含まれる可能性があるため
- ・「従業者数」の男女別の追加：男女別等統計に対応するため

【修正項目】

重複項目の統合、調査項目の簡素化、記入方法の改善等

- ・「開設時期」の削除：経済センサスが利用可能となったため
- ・「営業上の資産及び負債」の削除：0 記入が大半で有り、優先度が低いため
- ・「営業経費」の内訳の一部削除：内訳の記入頻度が低いため、精度確保が困難なため
- ・「給料賃金」の統合（「営業経費」の「給料賃金」のみ）：「従業者数及び給料賃金」の「給料賃金」と統合する
- ・「設備投資」の統合（総額のみ回答）：設備投資の記入頻度が低いため、精度確保が困難なため
- ・「従業者数（常用雇用者）」パート・アルバイトの内訳は削除：把握の優先度が低いため
- ・「営業日数」及び「営業時間」の変更：記入しやすいよう改善
- ・「事業経営上の問題点」及び「今後の事業展開」の簡素化：選択肢が多いため、記入しやすいよう改善
- ・「法人化の予定」を「今後の事業展開」に統合：記入しやすいよう改善

【その他】

記入誤りの防止

- ・経理項目の表示変更（「千円」から「〇〇〇円」に）：単位の記入誤り防止
- ・「売上金額」の注記（「フランチャイズの場合、ロイヤリティを含む」）の追加：記入誤りがないように明確化